

太陽を盗んだ男

池上季実子

北村和夫

神山 繁

佐藤 慶

伊藤雄之助

(特別出演)

西田敏行

水谷 豊

製作・山本又一朗

監督・長谷川和彦

原案・レナード・シュレイター

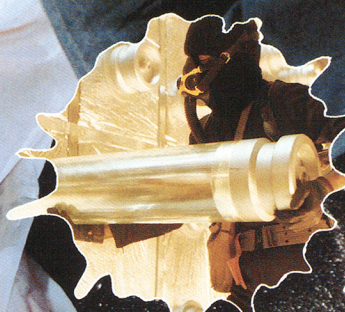
脚本・レナード・シュレイター

●長谷川和彦

プロデューサー・伊地智啓

製作・キティフィルム・コーポレーション

配給・東宝株式会社



菅原文太
日本でも原爆を作った男がいた!
沢田研二

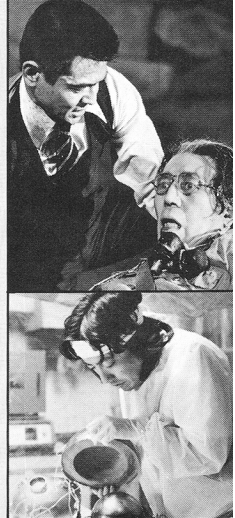
東宝

10月6日(土)大公開

日比谷映画街
千代田劇場
(591) 1 7 1 6

ハチ公前
渋谷宝塚
(461) 8 7 7 9

上野駅前
上野東宝
(831) 3 4 3 1



●かいせつ

今最高のにつける沢田研二と、男を演じさせれば他を寄せつけない菅原文太。そして「青春の殺人者」で映画賞を総ナメにした長谷川和彦が四年間の沈黙を破って世に問う第二作。新鮮な個性と個性が真剣にぶつかりあい、新しいアクション映画がここに生まれた。

原爆を作りあげたことにより強大な力を得、国家を脅迫にかかる沢田研二。それを血まなこになって追う菅原文太。男同士の熱い闘いが繰りひろげられる。

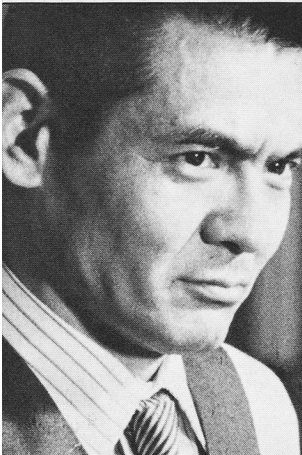
●ものがたり

ブルトニウムさえあれば原爆を作ることほそれほどむずかしくない。現に、アメリカの大学生が原爆を作りあげて世界を震撼させたことがあった。

東海村の原子力発電所が一人の賊に襲われた。警察庁長官は「盗難の事実は一切ない」と言明したが、警視庁の山下警部は公式発表の裏にある政府の狼狽ぶりを直感していた。

中学の物理の教師、城戸誠の部屋は、いま実験室のように模様変えされている。半透明のビニールが張りめぐらされ、ガイガー・カウンターや誘導炉、結晶修酸やフッ化水素酸等の薬品が所狭しと並んでいる。そして、宇宙飛行士スタイルの誠が目を血走らせて何かを作り出そうとしている。

数日後、警察庁長官室に奇妙な物体が置かれていた。東海村襲撃犯人から届いたもので、専門家による解体の結果、模擬原爆であることが判明した。中心部に



菅原文太

沢田研二

太陽を盗んだ男

東宝

監督 ■ 長谷川和彦 / 製作 ■ 山本又一郎



■スタッフ

製作……山本又一郎
プロデューサー……伊地智
原案……レナード・シュレイダー
脚本……レナード・シュレイダー
長谷川和彦
監督……長谷川和彦
撮影……鈴木達夫
美術……横尾嘉雄
録音……熊谷秀堯
照明……井上之典
音楽プロデューサー……多賀英
編集……鈴木慎二
助監督……相米慎二
制作担当者……古川石也
山本勉

製作……キティ・フィルム・コーポレーション
配給……東宝株式会社

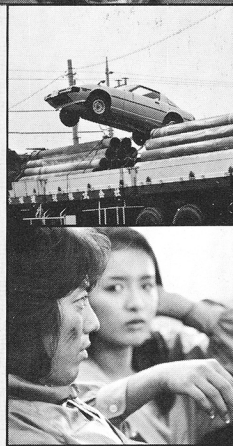
■キャスト

城戸誠……沢田研二
山下満州男……菅原文太
沢井零子……池上季実子
田中警察庁長官……北村山和
仲山総理大臣秘書……神藤繁
市川博士……佐藤雄之助
バスジャック犯人山崎留吉……伊藤雄之助
プロデューサー浅井……風間杜夫
交番の警官……水谷敏行
サラ金の男……西田正
サラ金の係員……小松方

納まっている金属ブルトニウムのかけらから判断すると、犯人は盗んだ液体ブルトニウムを金属ブルトニウムに変化させ、完全な原爆を完成したに違いない。そして犯人は、なぜか山下警部を連絡相手に指名していた。

城戸誠は完成した原爆を前に途方にくれている。原爆を作りあげたものの、この強大な力を背景に自分は何をしようとしているのだろうか。とりあえず模擬原爆を送り、政府に何かを要求するつもりだ。誠は山下を知っていた。東海村襲撃の下見をかねて生徒たちと原爆を見学した帰り、機関銃と手榴弾で武装した老人にバスを乗っ取られたことがある。「陛下に会わせろ」とわめく老人の要求で坂下門に突っ込んだバスから、生徒を救出し、銃弾に腹をえぐられながら犯人を逮捕した男が山下だ。教師に飽きた自分と比べて仕事に命を張った山下の行動は人を圧倒するものがあつた。もう一度逢つてみたい男。だから山下を指名した。

犯人から連絡を受けた山下警部は驚いた。「テレビのナイターを最後までキツチリ見せてよ」これが原爆という強大な



力を持った男の要求か。いまの若い奴は何を考えているのだろうか。さめた目で妙に腹を据えて生きている。バスジャック事件で出逢った青年教師も、特におびえた様子もなく、風船ガムを噛みながら落ち着きはらったものだった。

その日のナイターは試合終了まで完全中継された。第二の要求を何にすべきか誠は若者のアイドル沢井零子のDJ番組に電話で相談してみた。何でも望みがかなうアラジン魔法のゲンバクは大反響を呼んで、たくさんのアイディアの中から誠は「ローリングストーンズ日本公演」を採用した。ローリングストーンズは日本公演の前に、ドラッグ常習者という理由で入国を拒否されていた。

刑事にとつと押し寄せられて、沢井零子はゲンバクの電話がジョークでなかったことを知った。放送中何回か見かけた気になる人影。零子は本番をほつたらかして追いかけた。が、そのハンサムな青年は零子の唇にキスと指の間に一握りの髪の毛を残して消えた。零子の指に絡みついた髪の毛は彼が放射能に冒されていることを物語っていた。

次の要求は5億円。山下警部は張り切った。今までは犯人からの一方通行だが今度は違う。金の受け渡しなら必ず犯人と接触出来る。大きなランク二つ分の現金を犯人はどうやって受けとるつもりなのだろう。